

海外長期インターンシップ・工場見学旅行受け入れ先企業視察報告書

第一技術班 松尾 修 二

1. 目的国 タイ王国 バンコク、チョンブリ県(アマタ・ナコーン工業団地)
2. 目的 長期インターンシップ・工場見学旅行受け入れ先企業の開拓
3. 出張期間 平成 29 年 12 月 18 日 ～ 平成 29 年 12 月 21 日

4. 日程

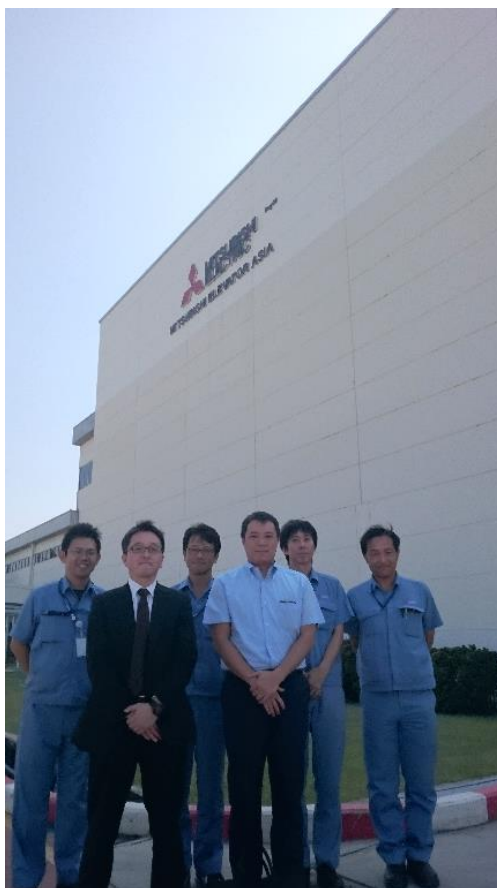
- 12 月 18 日 福岡空港午前 11 時 40 分 離陸
タイ・スワンナプーム国際空港へ 15 時 40 分到着
17 時 ホテル到着バンコク市内(JTB バンコク支店 係の人が送迎)
- 12 月 19 日 三菱電機エレベータ・アジア社(チョンブリ県アマタ・ナコーン工業団地)
午前 8 時 30 分 現地コーディネータの案内でホテル出発
午前 10 時 到着
はじめに会社説明があり、我々も今回の出張の目的と趣旨を説明したあと意見交換を行い、工場視察のあと、所長、技術統括者を含めた日本人従業員五名の方と坂口先生、松尾で昼食を囲みながら現地の話と最近の学生について意見交換を行う。職場では、日本語を話すタイ人社員もいる。日頃は英語でのコミュニケーションが多い。海外生活が初めての学生にとってタイはベストな国であろうという意見をいただいた。ただ、たとえば当校の学生を受け入れる場合、宿舍、通勤方法が問題かもしれない。日本人従業員はバンコクからタクシーで 1 時間半かけて通勤されている。当校 4 年生の工場見学は歓迎するとのことだった。
- 12 月 20 日 NSK アジア・パシフィック・テクノロジー・センター
(チョンブリ県アマタ・ナコーン工業団地)
午前 8 時 00 分 現地コーディネータの案内でホテル出発
午前 10 時 到着
はじめに会社説明があり、我々も今回の出張の目的と趣旨を説明したあと意見交換を行い、工場視察のあと、所長、マネージャの方、坂口先生、松尾で昼食をとりながらディスカッションを行う。当校 4 年生の工場見学は本社に確認しないとイケないがたぶん大丈夫とのことだった。タイ人の大学生に対して 2 ヶ月間のインターンシップを行っているが日本人の学生に対して今まで行ったことがない。しかし受け入れることは可能ということだった。またタイ人社員を研修で日本へ定期的に送り出している。
- 12 月 20 日 視察の後、ワットポーというお寺に見学に行ったがバンコク市内は午後 3 時にはひどい交通渋滞が始まりホテルまで 13 キロだが、たどりつくまで 1 時間以上かかった。バンコク市内はいつも慢性的な渋滞だそう。午後 8 時 30 分に JTB の送迎バスで空港へ向かう。渋滞がひどかったので高速道路を遠回りして空港へ着く。
- 12 月 21 日 午前 1 時 タイ・スワンナプーム国際空港 離陸
午前 8 時 福岡空港 着陸

5. 視察を終えての感想

バンコク市内は人々に活気がありタイが高度成長期であることを感じる事ができた。アマタ・ナコーン工業団地はバンコクから 80 キロ離れている。交通手段は車しかない。通勤時間帯は渋滞するが 1 時間 30 分で行くことができる。視察先を午後 1 時ぐらいに出れば午後 3 時にホテルに行くことができる。その後市内観光に出かけるなら電車などの公共交通機関を利用しないと観光バス等で移動すると確実に渋滞に巻き込まれ計画的な

観光は間違いなくできない。食事に関しては生ものさえ食べなければ大丈夫だと現地のガイドさんが言っていた。夜のバンコクは、比較的安全だが治安がよくない地域や飲食店もあるようだ。ちなみにこの三日間タイは涼しい時期。最高気温は20度ぐらい。ジャケットを着ても私はちょうどよく。湿気もなく涼しかった。12月後半から1月初旬までは涼しい日が多いということだった。ホテルはスクービット地区にあるホテルに滞在した。この地区は治安もよく周辺にはデパートやスーパーもあり吉野屋、回転ずし、などの日本食も困らなかった。

12月19日 三菱電機エレベータ・アジア社(チョンブリ県アマタ・ナコーン工業団地)



12月20日 NSKアジア・パシフィック・テクノロジー・センター
(チョンブリ県アマタ・ナコーン工業団地)



12月20日 午後3時 ワットポーへ向かう途中、渋滞にはまる。(バンコク市内)
ガイドのテンさんとドライバーの方



ワットポーの仏像と周辺の建物

